令和６年 10 月９日

第２回　信州たかもり温泉リニューアル検討委員会　会話文字起こし記録

出席者：委員５名
共同検討者３名
基本設計者２名
事務局５名

１．開会

２．自己紹介

３．協議事項

（１） 町民アンケート

（２） 設計業者説明

【質疑応答】

委員長）それぞれ意見をいただきたい。

委員）お風呂を一つにするというのはいいのかなと思う。他の温泉と比べてはいけないが、入ってきたときに、食事処等の全体を見渡せるといいのかなと思う。

委員）入ったとたんに食事処やエントランスが見えるといい、ということ。

委員）いろんな方がいるので、こんな書き方もされるのだと思いながらアンケートを見ていたが、建築屋さんは利便性などを考えて渡りお廊下を考えておられる、それはよくわかった。アンケートを見ると、風呂そのものの改善が必要かと。料金が高いとなってしまうので「本当の目的はお風呂で、料金に見合っている」ということ、「料金が高いのは仕方ない」という改修ができればいいのではないかと。食事はそれぞれ別だと効率・コストが悪い。昔の団体旅行も含めて、そういう世代には、入った瞬間のわくわく感が大事。レストランのあるなしにかかわらず、入った瞬間のわくわく感を凝らした意匠があるといい。入った瞬間に「前とは変わった」という感じを持たせる内装を考えると、より良くなると思った。

委員）宴会場は残るか。

倉橋設計）残る。和室の部分

委員）一番に考えたのは「温泉に入りに見える方」「宿泊される方」は別の集団だと思う。お風呂に来る方は週２，３回くらいで、宿泊の方で毎月１回来る人はおらず、年に１回とかだと思う。湯ヶ洞の方から入ってお風呂に入って帰られる方、宿泊に来てお風呂へ行って部屋へ戻る、この流れはいいと思う。少し引っかかるのが食堂。今までは食堂がフロントの前にあったので、お風呂に来た方が「ちょっと食べていくか」ということもあったかと思うが、「森のレストラン」は、お風呂に来た方がそこまで行くかというのが１点。それから、宿泊される方が１階へ降りて食事をされるとすると、ビジネス客だと使わないのではないか。そうしてくると、緑色のところと、バーベキューはいつ使うんだろう、とも思う。家族が来て１日滞在して楽しんで、という形ならいいが、そういう方向けの部屋仕様にはなっていないのではないか。そこが少し引っかかる。主として、入浴に係るお客様と、宿泊に係るお客様の、どちらかで行くのか両方で行くのかによってだいぶ違ってくる。

中央アルプス）アンケートを見て身につまされるところ。宿泊と温泉の利用客が分かれるというところは、最も。実際には、宿泊棟には１０部屋くらいしかない。そこまで分かれるというよりは、高森町に親せきの宿泊場所、実家が高森の人の帰省時の宿泊場所、宴会を湯が洞で開いて泊まるというケース。昔は土日の宿泊がほとんどだったが、ビジネスプランを始めたところ、平日も６割方が埋まる。今は大部屋が二つだが、部屋数を増やしてもそこまでの影響・混乱は少ないと思う。レストランに関して言うと、確かにその通りだと思う。

委員）議員の皆さんにも話を聞いたが、印象に残ったのが、高森町にたくさんの集団、グループが泊まれる宿がない。明治大学が来ても入れる規模のところがない。５０名くらいは泊まれるようにならないか、とその人は話していた。そんな意見が出ていた。それからスパ、今の時代はスパの有無でお客様が全然違ってくるという話があった。また、食事の件も話が出ていた。質が落ちたとアンケートにもあったが、話が出ていた。

中塚）ソフトの問題で、運営は、遠いけれど付加価値で来たお客さんがお金を落としていただくと、見えるのは一番いいが、思わず回りたくなる仕組みも。見通しが悪くても（何がどこにあるか）分かってもらえる方策があるといいなと思った。これまで「食堂あったの？」と帰ってしまう人もいた。見通しの悪い中でも経路あって見えるならいいが、それが難しいなら、ぐるぐるまわってお金を落としてくれる、という仕組みがあるといいと思う。

比較対象の清流園も「あれがある」「これがある」というところ。「行きたくなる」「むしろ秘密を解き明かしたくなる」ということを、ソフト面やサイネージなどで工夫できればと思う。奥まったところに行かせるというのは、ハード・ソフトの関係でなんとかできれば。

委員）宿泊の部屋数が少ないと委員から話があったが、サッカー場ができたことで、サッカーの試合・遠征にきたが宿泊できない、ということがこれから出てくると思うが、どうか。

中塚）合宿の件は団体利用として、どこかで割り切る必要がある。部屋数は北部地区全体でほしいのは確かだが、明治大学クラスでの受け入れというのは難しい。

中央アルプス）話を聞いた中で、お風呂に注力するのは非常にいいと思う。お風呂は何個かあったほうがいい。室内でも２つ３つ。運営目線だが、受付のキャッシュレス化は計画に含まれているか。

倉橋設計）それは今後の話の中で。

中央アルプス）それは今後必要になると思う。

中央アルプス）駒ケ根のコマクサの湯等を見させていただいているが、一番気になるのは脱衣所だと思う。利用するすべての人が通るところ。今の御大は少し狭い。お風呂場に入るまでもスロープ・段差がある。女性の方は広くするなどして、なるべく段差を減らしてあげたい。高齢の方は浴室で蹲くというところもあるので改善したい。男性も一緒。どうしても濡れている場所なので滑りやすいのでなくしていければ。ドライヤーや洗面台待ちが、女性にとってはストレスだと思うので、お風呂を良くして、空くまで待ってもらえたら。コマクサの湯でもドライヤーが６、７台相当必要。蛇口―や打たせ湯がなくなったのは、法律の関係なので、（それとは別に）温度の変化や電気風呂などがあれば。サウナの関係で水風呂は求められているのかと思う５，６，１０度のシングルを作るなど、やるなら本当に振り切っても面白いと思う。「木漏れ日の丘」の休憩室の「スパライブラリー」が、良くわからない。木漏れ日の森の小上がりがその空間かと思うと、同じ空間が２つできてしまってもったいない。健康エクササイズのできるジムができれば、もっと地元の人に来てもらえると思う。運営していても、どこがターゲットか。目先のお金となると、まずは飯田、高森の１１万人に来てもらえるところを作りこんだらどうか、と思う。

委員）中央アルプスさんとしては、飯田の 10 万人は、どういうものがあれば来ると思うか。

中央アルプス）リファとかは「ここへ行けばあるから（行く）」という女の子たちの感覚で導入した。ちょっと使えるもの、身近な使えるものがあると、

良い施設と感じてもらえる。大きなハードで内装を変えていくのも大事だが、手に取って使える空間も大事かと思う。

委員）現実な話が非常に参考になる。

委員）今、湯ヶ洞へ行っているが、横から出てくるジェットバスがほとんどない。清流苑へ行ったときに、マスカット風呂があって、その横にジャグジーがあった。ものすごい勢いで出てくるので、そのくらいがいいなと思った。友達にも話をしたところ、「最初は御大に入ったときにお湯が噴き出ていた。上から出ていたのが全部なくなっちゃった。入ったときに静かに洗っている音しか聞こえなくて。音が聞こえると元気をもらっていたので、（なくなって）さみしいな」と。コロナの関係もあるので全て（のことを元通りには）やらないと思うが。（料金に関しては）町外の人は、今６５０円で、それをいわれた。「家族でちょっと来た時にあれかな」と。

中央アルプス）打たせ湯は循環だとできない。料金に関しても、６５０円を払っても「安い」と思われうるものを作っていくことが大事。お風呂だけでなくて楽しんでもらえるのが大事。そのためだけに出かけるのではなくて、せっかくなら晩御飯を食べたり、洗濯ができると良い。

委員）みんなが半日過ごせるような、というのが、現実的にできるかどうかは分からないが、遊び心を含めたものを作れたら。

中央アルプス）（半日過ごす例となると、）今はコインランドリーがあるスーパーマーケット等も増えてきた。

小平）長くいたい、とおもえるところは、お風呂以外に魅力がある。「コトリの湯」は二階が全部休める場所になっていて、本がいっぱいある。お風呂に入る人は入るが、みんな寝転がっていたり椅子に座ってくつろいでいたりする。いろんな年代が集まっているのが印象的。うち（湯が洞・御大）の魅力はそこまで達していないのが課題かと思う。立ち寄りやすい雰囲気にしていくにはどうしたららいいのかを考えていく必要がある。

中島）埼玉に住んでいた時に「お風呂の王様」に行っていて、エントランスからお風呂場まで歩くが、苦だと思ったことはない。運営をするとなったら、御大・湯が洞の間の真ん中の車両道路は必要か。

中ア）いらない。

中島）道路を残す形なら、展望の渡り廊下をエレベーターなしで付けるのはありか。

倉橋設計）階段は残さなきゃいけないと思われる。斜めに根元に向かうとグシャグシャしたところになってしまう。例えば「スパライブラリー」の内容にもよるが、そちらへつなげるのも手。斜めに行くと、接続がぐしゃぐしゃになる。

中島）今回の図だとレストランへの入り口がエントランスのみになる。一番端を通るようなので、何か斜めにレストランへ行けると。

中塚）入り口の決済に関しては、以前に中央アルプスリゾートさんが提案されていた件はどうか。

中央アルプス）リストバンド式のコインロッカー等で会計をする仕組みはどうかと考えている。コインロッカーもリストバンドで使用できれば手ぶらで入れる。

中塚）たくさん利用していただける仕組みにはなるかな、とは思う

中央アルプス）レスランで屋台的なものができると、そういうところをどこか作れないかなと。

倉橋設計）広さは十分ある。

倉橋設計）ターゲットを誰にするのかを絞ったほうがいいのか、広くい呼び込んだいいのかというところはあるが。利用する側からすれば、お風呂をしっかりするのと、レストランをしっかりするのと。湯上りした後にどういう風に利用するのかを突き詰めていければ、リピーターも付くかと思う。清流園にはない魅力をここで作っていければ。

委員）ここの魅力は景色だと思う。他にない魅力。どう見せるかの配置も大切。

委員）奥さんが来て化粧を落とすのが、ということであれば、別で楽しんでいただけるように、高森のスイーツ等を扱ってはどうか。町内のお店とうまく連携できるのではないか。

委員）ボイラーは補助を使えるか。ボイラーを一つにまとめていくことができれば、設備的にも効率的になる。最終的にはコストの問題もあるが、設備も含めて、打たせ湯等の改修ができれば。

中央アルプス）現状は、浴室も地下タンクも掃除したくてはいけない状況。上の浴室だけで管理できるようになれば。

委員）委員会で進めていく中で考慮できるか、長い目で考えていく必要がある。

４．その他

次回開催予定：調整後、連絡